

「命を守る」を最優先に

校長 紫雲 友紀子

いよいよ、2024年がスタートしました。

今、校内を歩くと、各教室には子供たちの新たな目標が掲げられています。学校が希望に満ち溢れているように感じます。今年は辰年。龍のごとく一人一人が目標に向かって駆け上り、大きく成長する年にしてほしいと思います。

一方、今年は元旦から能登半島地震、飛行機事故と心を痛めることが続きました。集会では被災された方にお見舞いを申し上げるとともに、子供たちに以下のことを話しました。

「災害は他人ごとではなく、いつ私たちにも起こるかわかりません。自分の命は自分で守れるようにしていきましょう。そのためには、日頃から災害を想定した準備と訓練が必要になります。飛行機事故の際、旅客機の搭乗者は全員避難をすることができました。避難誘導をした乗務員の的確な指示が素晴らしいものであったと世界から評価を受けるほどでした。それは、日頃の訓練あってのことだそうです。訓練の大切さを感じました。さらに、私はこうも思います。搭乗者もまた、これまでの訓練によって命を守ることができたのではないかと。火の手が迫る恐怖の中、指示に耳を傾け状況を理解し落ち着いて行動できたということ、これも、学校や職場等で行う避難訓練の成果ではないでしょうか。学校では年に数回、避難訓練を実施します。毎回の訓練に真剣に臨み、とっさの身の守り方、状況と指示をよく聞くこと、落ち着いて行動すること等、身に付けていくようにしましょう。また、非常時には地域の方と助け合っていくことも大切です。東日本大震災の折、ご両親が帰宅できず不安な思いで過ごす子供に「大丈夫。一緒にいよう。」とご近所の方が守ってくださったという話も伺いました。またそれが、どんなに心強かったかということも。日頃から、地域の方をよく知っておくことも大切ですね。」

私たち職員も、災害時に子供の命を守るために最善が尽くせるよう、日頃から危機意識をもち、過去の災害に学び、訓練に取り組んでまいります。本年もよろしくお願いいたします。

<2月の行事予定>

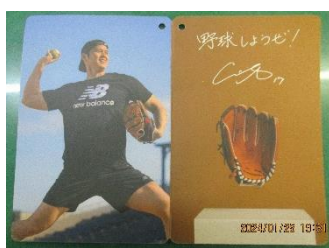
学校の様子

〈大谷選手からのプレゼント〉



1月9日。全校集会の際、「校長先生の話」の中で「みなさんにお年玉が届きました。何かわかるかな。」と話がありました。すると「なんだろう」「お金かな」「わからない」と皆そわそわしている様子。そうした中「大谷グローブだ」と数名の声。ざわつき始める中で校長先生が「そうです。大谷選手からグローブが届きました。」とグローブを出した瞬間、「やったー」「すげー」「使いたい」と声上がり、今すぐにでも飛びつきそうな勢いで、身を乗り出した子がたくさんいました。そして6年生の代表がグローブ使用者第1号として皆にキャッチボールを見せてくれました。最後に校長先生から「このグローブを使って野球を楽しんでほしいです。大谷選手のように大きな夢を追いかけ、つかんでほしいと思います。」という話がありました。現在、6年生から順に使っているところです。グローブを使う日を楽しみにしてほしいです。

なお、2月2日（金）の学習参観では、昇降口に展示をする予定です。来校した際に是非ご覧ください。



〈書き初め教室・席書会〉

12月14・15日に地域の学習ボランティアの方3名をお迎えして書き初め教室を行いました。筆の持ち方や筆の動かし方、書き始めの場所や字の大きさなど、一つ一つ丁寧にご指導をいただきました。一枚書くごとに添削をしてもらい、良い作品を書きたいと思いが表れていました。

1月11日、書き初め教室で学んだことを活かし、席書会を行いました。配列・文字の大きさ・筆圧などを意識して勢いよく書くことができました。集中して取り組む姿は素晴らしかったです。作品は各クラスの廊下に掲示し、校内書き初め展を行っています。

期間は2月2日（金）まで、時間は15：15～16：15。学習参観・懇談会の際にもご覧ください。



〈避難訓練〉

1月17日に避難訓練を行いました。今回は子供たちに避難訓練が行われる日時を知らせず実施。突然の放送にこれまでの訓練通りの行動をとることができるか、放送を聞き自分の判断で避難できるかが目的でした。業間休みに火災発生の放送が入ると、動きを止め、放送をしっかりと聞く姿が見られました。そして、出火元を避け、ひょうたん山の前に設置された本部に避難することができました。一人一人が正しく判断し、自分の命を自分で守る行動に感心しました。先日、能登半島でも大地震がありました。災害はいつ起こるかわかりません。学校でも日々子供たちに指導をしています。ご家庭でも改めて避難の仕方、避難場所、備蓄品、連絡の取り方など話し合ってみてください。



〈4年生 校外学習〉

1月19日、千葉市科学館に行ってきました。「滑車のはたらき」では、重いものを小さな力で持ち上げられることを実感したり、「パラボラ音声伝達」では、パラボラアンテナを使うと、離れていても小さい声を拾うことができることに驚いたり、科学の楽しさの一端に触れてきました。プラネタリウムでは「冬の星」を見て、今夜見える星座や星の動き、明るさによる星の温度の違いなどを話していただき、夜空を見上げる楽しみができました。戻ってきてから理科の授業で学んできたことを生かすことができました。



〈1・2年生 保育園と交流〉

1年生は、12月11日にまどか保育園と交流活動を行いました。1年生の教室を訪れた園児たちに学習発表会で披露した「まつぼっくりけん玉」「まつぼっくりツリー」「落ち葉アート」など、木の実を使った作品の作り方を発表しました。1年生の作った作品に園児たちは「すごいな」「いいな」「やってみたいな」とつぶやいていました。発表会での経験を活かし、園児にわかりやすく伝えることができました。園児たちが喜ぶ姿に「うまく発表ができてよかった」「もっと教えたかった」「またきてほしいな」と達成感を味わっていました。



2年生は、1月24日にたかし保育園と交流しました。2年生の教室では、初めにじゃんけん列車を行いました。「スタート」の合図でみんな楽しくじゃんけんポン。緊張していた園児たちも、すぐに笑顔。「ここつかまってね」「ぼくとじゃんけんしよう」と優しく声をかけていました。続いて学校探検。4月から小学生になる年長さんをエスコート。学校にはどんな場所があるか、何をする場所かわかりやすく丁寧に伝えていました。1年生の時よりも上手に交流会を進めたり、園児に優しき接したりする姿に成長を感じました。



〈1年生 昔遊び〉

1月25日、地域の洋々会の皆さんをお招きし、昔遊び体験を行いました。お手玉・あやとり・紙飛行機・けん玉・こま回し・折り紙と6種類を体験しました。作り方や技を一つ一つ丁寧に教えてもらって、どんどん上達。どの遊びもできるようになってきました。「すごいね」「上手だね」と褒められると得意げな顔に。たくさん経験することができ、また一つできることが増えました。



〈球技大会〉

1月23日、本校を会場に、真砂五小と稲浜小迎え、球技大会が行われました。12月から練習に励み、個人の力量を高めるとともに、チームワークを大切に取り組んできました。これまで築き上げた練習の成果を発揮し、優勝を目指して臨みました。「前に走って」「パス行くぞ」「こっちにパス」「みんなで守るぞ」と、コートの中でお互いに声を掛け合う姿。「ナイスパス」「ナイスシュート」「がんばれ」「ナイスファイト」と、コートの外からの応援する仲間の声。チーム四小として心を一つに頑張っている姿に胸が熱くなりました。勝敗にかかわりなくお互いを称え、認め合う姿は立派で、精いっぱい取り組んだためか、悔いのない清々しい笑顔が多く見られました。結果は、については下記をご覧ください。

最後に、応援に来てくださいました皆様、ありがとうございました。

☆結果☆

〈サッカー〉第3位

高洲四小 VS 真砂五小
0 - 5

高洲四小 VS 稲浜小
0 - 0

〈バスケ〉優勝

高洲四小 VS 真砂五小
32 - 22

高洲四小 VS 稲浜小
30 - 12

